

2024年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社セキュアヴェイル
代表者名 代表取締役社長 米今政臣
(コード番号:3042 東証グロース)
問合せ先 経営企画本部 大山紀夫
(電話 03-6264-7180)

連結業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年9月15日に公表しました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。また、2024年3月期決算において、特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期連結業績予想値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,250	百万円 30	百万円 30	百万円 245	円 銭 31.86
今回修正予想（B）	1,098	△32	△38	228	29.78
増減額（B－A）	△151	△62	△68	△16	
増減率（％）	△12.1	—	—	△6.6	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	1,029	△34	△30	△44	△5.73

2. 修正の理由

売上高につきましては、新規サービス案件の商談進捗の遅延や導入時期の延期、既存顧客の一部解約などの要因により、前回業績予想を151百万円下回る見込となりました。

損益面につきましては、売上の減収に加え、仕入価格の上昇などの影響により、営業利益、経常利益が前回業績予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券等を売却し特別利益を計上した一方で、減損損失を計上したことにより前回業績予想を下回る見込みとなりました。

なお、この状況を踏まえて、当社グループでは重点施策であるパートナーとの連携強化によるアップセルや新規顧客の獲得に取り組むとともに、セキュリティ運用基盤の機能強化やクラウドサービス化、サービスラインナップの増強などの施策を実施し、今後の収益拡大に取り組んで参ります。

3. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の直近の業績を踏まえ、「固定資産の減損に関する会計基準」に基づき検討した結果、減損損失として約39百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上